

ゲットを20頭出荷しています。都市部への販路を主としている理由としては、高値での取引が期待できるということですが、なお、一部の部位等に関しましては森のえき等で提供しておりますが、頭数の確保と拡大に向け引き続き努力いたします。

**Q** 個人経営の緬羊牧場もあるが、支援等はどうなっているか。

**A** 現在、地域おこし協力隊として活動されているご家族になりますが、独立に向けて可能な範囲で支援を行っていきます。

**Q** 7月の激甚災害の際、矢坂地区に防災無線が流れず、情報はテレビしかなかった。地区内では県道が冠水するなどの被害もあったことから、防災無線の在り方について検討してほしい。

**A** 防災無線につきましては、町内28箇所、7地区に分類して、必要なエリアで放送することとしています。今回の災害時では、土砂災害警報のエリアでありました藤琴・中通・米田・大沢地区に対して避難指示を通過(放送)しています。なお、避難情報は、秋田県、各市町村が随時NHKに提供しておりますのでそちらをご覧ください。住民の皆様は混乱が生じることの無いよう、ご意見を踏まえながら、検討いたします。

**Q** 今年は特に夏が暑かったが、防災無線での周知はあったか。

**A** 熱中症アラートが発令された場合は、順次放送を行っております。

**Q** 矢坂上野の集会所にはエアコンが無く、猛暑日の避難場所として解放できなかった。設置等支援していただけないものか。

**A** 要綱等を確認後、後日ご相談させていただきます。

**Q** これまでは、熊出没の放送が町内全域となっていたが、先日は矢坂地区にならなくなった。違いは何か。

**A** ご存知の通り、今年度は出沒箇所が広範囲となつており、情報が集中した時期は町内全域としておりましたが、矢坂地区、先の大沢地区においては出沒場所が住家近くであったことから、地区を特定して放送しています。状況に応じて適宜対処いたしますのでご理解をお願いいたします。

**Q** 路線バスの時刻表と電車の時刻表は合っていないようだが。

**A** それぞれの事業者で複数市町村に渡って各駅、各停留所の運行時間がある中で、調整が難しいようです。協議会等の場で要望いたします。

**Q** 矢坂地区の住宅密集区間の県道は狭く非常に危険。道路の拡幅を要望する。矢坂地区総会において、近隣住民が協力することを確認している。

**A** 冬期間の除排雪困難箇所であり、狭い箇所であることは承知してはいますが、これまで正式な要望として挙げられたことは無いものと認識しております。私有地内の塀などの問題がありますが、県道矢坂・糠沢線期成同盟会のメニューに盛り込むことの可否等について、担当課より秋田県に確認いたします。

【粕毛地区・7名】

**Q** 粕毛地区内の主要町道の側溝について、経年劣化が進み、高齢者の歩行に支障をきたしている。道路側溝の改修は可能か。

**A** 以前からの懸案事項ですが、現状はご承知の通り道路脇の私有地のブロック塀が側溝に密着している箇所も見られることから、修繕が困難なルートになっていきます。部分的に対処が可能かどうかを含めて現場を確認いたします。

**Q** 元木材工場や町不燃物処理場の入口、粕毛地区への入口までの県道区間については、急カーブや高低差があつて、事故等を誘発する危険性が高いと思う。大規模な改修はできないものか。

**A** 県として認識しているかどうかを含めて照会いたします。

**Q** 真土地内を流れる水路に、真土沢川の上流が侵食されて砂が流入しているのか、最近流れが悪くなっている。

**A** 水害発生時は、支流等河川の状態を調査していますが、改めて現場を確認いたします。

**Q** 認定こども園の整備について、同地区は、ハザードマップにおける水害発生時に浸水の危険性が高い場所に設定されているはずだが、今回もそこを選択することについての危険性の認識は。

**A** 令和元年度に作成しましたハザードマップでは、それまでの50年に1度を想定したことから、ゲリラ豪雨を含む異常気象に対応した百年に1度の災害を想定しており、それによって浸水が最大で50cmまでから3mまでの高さに修正されています。なお、地形的な面からは、洪水被害が発生した場合、藤琴地区から大沢地区に向かつて傾斜があるため、内水氾濫の長時間滞留は発生しないものと考えています。

**Q** 洪水被害が発生した場合の避難誘導等はどこが対応するのか。

**A** 避難所の開設及び避難者対応は町職員での対応となります。巡回などは消防団にご協力いただいています。